

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No.2	地域で何の行事があるか情報が乏しい。	地域での行事や予定などの情報を知る。	回覧板の利用を運営推進会議時に役員さんに相談する。	2ヶ月
2	No.2	住宅地とは離れて建っている事もあり、グループホームがある事が地域の方に周知されているかわからない。	地域の方に「えがお」の場所や、普段の活動をしてもらう。	回覧板を利用し、広報紙を発行する(年4回)。運営推進会議にて提案、相談する。	12ヶ月
3	No.4	遠方にいる家族はなかなか面会に来れず、普段の様子がわからない。それに対し、どのように毎日を暮らしているのかお伝えしていない。	家族に「えがお」での様子をお知らせする。	月1回送付する請求書の中に様子を記した文書(写真入り)や、毎月のメニュー表を同封する。	6ヶ月
4	No.2	入居者が地域の一員として日常的に交流できていない。	地域の方々との交流。	近くの保育所への訪問や「えがお」へ遊びにきてもらえるよう働きかける。会議や回覧板を通じて地域の行事の情報を得て参加する。	12ヶ月
5	No.4	事業所の運営や現状について、家族と情報共有できていない。運営推進会議の内容についても、参加した家族としか情報共有できていない。	入居者の家族と情報共有する。	会議に参加しない家族にも現在の状況や運営についてお知らせする為に、運営推進会議の議事録を閲覧できるようにする。	2ヶ月
6	No.5	災害時の避難方法について地域との協力体制が築けていない。	夜間も含め、災害時に地域の方からの協力が得られるようにする。	運営推進会議にて地区の役員さんに働きかける。	2ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。